

一般社団法人東京都ホッケー協会  
2020年度 第14回理事会議事録

日時：2021年3月27日（土）14:00-17:00

場所：晴海トリトンスクエア会議室、WEB会議併用

出席：

（理事）市川明、一川邦彦、右川誠治、小川仁志、河原茂光、菅野芳哉、栗原崇、近藤聡史、坂本有里、塩野谷住雄、正田実、多氣洋平、西澤英一郎、平田麻佑子、和田明仁、

（欠席）（監事）小池文彦

定数の3分の2以上の理事の出席により開催された。

議事内容：

【承認事項】

1. 第13回理事会議事録

提案どおり承認。

2. ホッケー&ラグビー教室について

提案どおり承認。

3. 駒沢ホッケー教室3月開催について

提案どおり承認。

4. 5月9日さくらチャレンジマッチイベントのJHAからの協力依頼の引き受け

協力依頼を受諾。キッズコーナ運営などは普及委員会が担当。THAとしてどこまで業務を担当するかについては今後JHAとTOCOGと早急に確認して、その後THAの責任者を決定する。

5. 国体チームの監督

成年男子：徳島竜太氏、成年女子：小林真由美氏、少年男子：宮林暁光氏、少年女子：喜友名詩織氏 を監督として委嘱する。

【協議事項】

1. 2021年度国体強化事業部会予算について

助成金を活用し、海外遠征を検討する。超過した予算については、今後他の費用の見直しなどを含めて検討する。国体強化の位置づけを明確にすること。

選考会を4月から実施。選考基準はHPに掲載済。

2. 大会運営事業部会20年度収支と事業戦略案について

大会運営収支は年度ではほぼ均衡だが、大会運営は剰余金が出るようにし、それを他の事業運営費用に使うことを考えるべき。大人の大会参加費を増やし、助成金の有効活用などの策を検討。原資を稼ぐ事業と強化などの投資する事業を明確にして進めていく。法人のTHAサポーターを集める策やTHA主催大会の参加費の増額等もしっかりと検討。期待できる選手を集める策や仕組みを検討していくことも検討が必要。方向性については検討。

3. 総会日程について

6月20日（日）10時～12時、webリアル併用、懇親会無し。

4. 連絡会開催について

総会までに開催しない。

5. 理事会と事務局の役割について

事務局と理事の役割分担を明確化する。事業別の事務作業と事務局の事務作業の区別も明確化する。総務委員会で総会に諮る内容の原案を作成し、次回理事会で議論。

## 6. 監事人事

各チームとHPで公募をする。立候補がなければ、適任者を探して補充を行う。任期は新任として4年間とする。

## 7. ボランティア募集の見直しについて

ボランティアと大会運営スタッフの位置づけを区別する。チーム単位でスタッフを集めて、まとめて支払う方式が事務作業的に効率的。ただし、助成金のルール（個人支払い、銀行振り込み、チーム単位の支払い可否など）に応じてメリット・デメリットがある。

## 8. オリンピック大会時の大井競馬場ファンゾーン運営準備事務局への参画依頼への対応 THAとして参画する。本人の意思があれば唐沢氏を推薦する。

### 【報告事項】

1. 東京ウインターキャンプ(TWC)実施について  
全て、滞りなく終了した。
2. 駒沢倉庫利用契約を更新した。
3. 賛助会員ノベルティ製作を開始した。
4. 東京都からの大井利用に関するアンケートがJHAから登録チーム宛に依頼された。  
その後の会議では、進捗は公開されていない。
5. 箸本監事を除き、登記完了。
6. 東京アスリート2020年度実施報告書提出および2021年度推薦について  
東京アスリート認定制度により、東京都から助成金を選手遠征費等に支出した。2021年度も募集し制度利用を継続させて頂く予定である。
7. 国民体育大会東京都予選会（都体協）  
候補選手を選抜するために東京都体育協会の助成金で選考会を実施予定である。
8. 駒沢関係  
例年通り予約を取ってから大会等を決定していく。11月の平日のキャンセルができるかを継続協議していく。5月5日学連新歓イベントで利用。施設管理者と調整中。
9. 予算案  
事業別予算に基づいて4月から執行開始。THA全体予算については次回審議。

上記決議を確認するため、本議事録が作成され、会長が署名捺印した。

2021年3月27日

一般社団法人東京都ホッケー協会  
代表理事  
和田明仁

和田明仁 